

## 令和5年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	株式会社オキタグ
プロジェクト名	沖縄県における「ロバストタグ」製造事業
事業内容	ロバストタグ（高機能性RFIDタグ）の高速製造装置を世界に先駆けて沖縄に導入し、OEM元であるバアロア株式会社向けに100%OEM生産を行う。これにより高機能性RFIDタグの価格の低廉化を牽引することでRFIDの需要の急拡大を誘導する。これにより国内外に対して沖縄がRFIDの世界的供給基地であることを示し、RFIDへの再投資を沖縄に集めるための礎を築くことを目的とする。
今後の計画	令和6年度：海外なし、国内（バアロア向け）30万枚、県内なし 令和7年度：海外なし、国内（バアロア向け）5000万枚、県内なし 令和8年度：海外なし、国内（バアロア向け）1億枚、県内なし
最終目標と現状	最終目標） 当補助事業で導入した装置は1号機。その隣に令和8年度に2号機を導入予定であり、こちらと合わせた年間生産枚数は、令和10年度5億枚となる 令和9年の受注状況を見て、3-4号機の設置を検討する。それが実現した場合、令和12年度の生産枚数は13億枚（売上換算195億円）。
補助事業の効果	令和6年度は、ユーザーサンプルの作成と本格量産に向けた設備の調整が主となった。事業の目的である高機能性RFIDタグのうち、耐圧タグと耐熱タグは量産可能となった。また、ユーザーニーズに合わせ、標準タグもラインナップした。 また、当時、設備や人も体制が整っていない状態のなか、先行した行政の支援があったことで、民間からの資金調達も可能となり、順調に量産体制を構築することができた。